



(左から) 比嘉良喬 沖縄県歯科医師会長、藤田 附属病院長

沖縄県がん診療連携拠点病院である琉球大学医学部附属病院と一般社団法人沖縄県歯科医師会は、がんの治療効果の向上やがん患者の療養上の生活の質の向上を目的として、連携・協力してがん患者の口腔ケアや歯科治療などの口腔管理を行うことができる体制の整備を進めることで合意し、平成27年10月20日に連携合意調印式を行った。

今後は、がん患者の口腔ケアや歯科治療などの口腔管理に関し、がん治療方針や治療状況に係る情報が適切に共有されるように連携を行い、またがん患者の状態に応じた適切な口腔ケアや歯科治療などの口腔管理が継続的に行われるよう人材の育成を行う。

調印後、最初に藤田次郎琉球大学医学部附属病院長から挨拶があり、「近年、口腔の衛生状態や健康度が、がん治療の経過や予後に大きく関わるようになってきており、沖縄県がん診療連携拠点病院である本院にとって、沖縄県歯科医師会と連携してがん患者の口腔ケア、歯科治療にあたることは大変心強い」と述べ、続いて、比嘉良喬沖縄県歯科医師会長から挨拶があり、「今後専門研修等を通じて、連携する歯科医療機関を積極的に増やし、県内のがん患者が地域で安心して歯科治療を行える基盤を構築し、患者さんの治療や生活の質の向上に寄与したい」と述べた。